



低レベル放射能への危惧

昨日、「核の傷 肥田舜太郎医師と内部被爆」というドキュメンタリー映画を見てきました。
『低レベル放射能』の理解を深めました。

癌が増加している理由は、タバコ・アルコール・感染等様々な要因があると思う。
長寿社会の宿命で老化が主な要因と思っていた。放射能による10年後の癌については皆さんも
ご存じだろう。しかし、50～60年後の低レベル放射能による癌を知っているだろうか？
この癌は現段階では医学的に証明できないそうだ。しかし、アメリカの郡単位の地域の統計で、
50年で乳癌発生率が2倍になったところの共通点が1つだけあったそうだ。それは、原発から180
km以内だったとのこと。これは、何を示しているかということだと日本にある原発を基点に円を描くと
ほぼ日本全土で影響があるということになる。原発が稼働すればすべての日本人が放射能から
逃れられないのかもしれない。では、放射能とどう向き合えばよいのだろうか。癌にならない為に、
早寝早起き、よく噛んで食事をし規則正しい生活をするのが、小さい抵抗のようだ。
これからも、正しい情報を知り行動することが大切と考える。

福島原発について、危惧するばかりです。

庄子 2019.09.01